

『日本アルコール・薬物医学会雑誌』 第45巻 (2010年 平成22年) 総目次

■企 画■ 教育委員会からの推薦論文

物質使用と暴力および自殺行動との関係

松本俊彦 . . . . . 13 (1号)

メタンフェタミン誘発性記憶障害の分子機構

永井 拓、山田清文 . . . . . 81 (2号)

薬物自己投与と再発・再燃のモデルマウス

古関竹直、鍋島俊隆 . . . . . 147 (3号)

一般市民の飲酒、喫煙習慣と脳卒中危険因子としての多量飲酒、喫煙の認識

森本明子、宮松直美、岡村智教、中山博文、盛永美保、

豊田章宏、鈴木一夫、畑 隆志、山口武典 . . . . . 411 (5号)

意志決定とアイオワ・ギャンブル課題 : 依存研究との関連

高野裕治、高橋伸彰、廣中直行 . . . . . 420(5号)

薬物依存症の末梢血バイオマーカーに関する最新知見: 神経栄養因子およびサイトカインを中心に

谷渕由布子、伊豫雅臣、橋本謙二 . . . . . 515 (6号)

薬物依存におけるピッコロの役割

新田淳美、日比陽子、宮本嘉明、鍋島俊隆 . . . . . 525(6号)

■総 説■

アルコールとメタボリック症候群 藤田尚己、竹井謙之 . . . . . 157 (3号)

合成カンナビノイド誘導体の薬理学的特性とその乱用について 船田正彦 . . . . . 167 (3号)

■原 著■

アルコール依存症男性における飲酒・喫煙・食生活とbody mass indexとの関わりについて

細川裕子、横山 颯、横山徹爾、和田則仁、森 朱夏、

松井敏史、水上由紀、真栄里仁、丸山勝也 . . . . . 25 (1号)

介入ツール -飲酒の国民標準表(成人男女別) - 第一報

猪野亜朗、岡村広志、崎山 忍、和田文明、樋口 進、

尾崎米厚 . . . . . 38 (1号)

覚せい剤併存性障害への支援のあり方に関する一考察 —統合失調症支援モデル事例と依存症支援モデル事例との比較から—

池田朋広、梅野 充、森田展彰、秋庭秀紀、中谷陽二 . . . . . 92 (2号)

アルコール関連問題を抱えた自殺既遂者の心理社会的特徴：心理学的剖検を用いた検討

赤澤正人、松本俊彦、勝又陽太郎、木谷雅彦、廣川聖子、

高橋祥友、平山正実、亀山晶子、竹島 正 . . . . . 104 (2号)

精神保健福祉センターにおける認知行動療法の展開 —TAMA center for mental health and welfare Relapse Prevention Program(TAMARPP)—

宮崎洋一、山口亜希子、近藤あゆみ、五十嵐雅美、四辻直美、

高橋郁絵 . . . . . 119 (2号)

GSK-3  $\beta$ -50T/CおよびDBI +529A/T遺伝子多型とアルコール依存症との関連

栗原晃平、青木 淳、沼尻真貴、池田和隆、川合厚子、

和賀央子、吉原英児、村山 洋、岩橋和彦 . . . . . 430 (5号)

少年鑑別所入所者を対象とした日本語版SOCRATES (Stages of Change Readiness and Treatment Eagerness Scale) の因子構造と妥当性の検討

小林桜児、松本俊彦、千葉泰彦、今村扶美、森田展彰、

和田 清 . . . . . 437 (5号)

国立精神・神経医療研究センター病院医療観察法病棟における物質使用障害治療プログラムの開発と効果測定

今村扶美、松本俊彦、小林桜児、平林直次、和田 清 . . . . . 452 (5号)

Evaluation of the use of self-reported facial flushing and ethanol patch test for ALDH2 genotypes

Tokuo Ishibashi, Ayako Taguchi, Yasushi Yamamoto and

Shoji Harada . . . . . 464 (5号)

物質使用障害患者における乱用物質による自殺リスクの比較 —アルコール、アンフェタミン類、鎮静剤・催眠剤・抗不安薬使用障害 患者の検討から—

松本俊彦、松下幸生、奥平謙一、成瀬暢也、長 徹二、

武藤岳夫、芦沢 健、小沼杏坪、森田展彰、猪野亜朗 . . . . . 542 (6号)

Ethanol decreases cellular protein content and mitochondrial membrane potential of cultured neonatal rat cardiomyocytes : microassays with fluorometric and spectrometric plate readers

Keiko Mashimo, Shigeru Sato, Akiko Adachi and Peter G. Arthur . . . . .	543 (6号)
薬物依存症治療に対する新しい方略： Matrixモデルの理論と実際 原田隆之 . . . . .	557 (6号)

■短 報■

薬物依存症民間リハビリテーション施設入所者の退所1年予後とその関連要因 近藤あゆみ、和田 清 . . . . .	175 (3号)
スフィンゴシルホスホリルコリン (SPC) によるラット血管収縮反応に及ぼす エタノールの影響 工藤利彩、羽竹勝彦 . . . . .	182 (3号)

■報 告■

構造化された入寮生活による栃木ダルク5段階方式の展開 栗坪千明 . . . . .	49 (1号)
--	---------

[総目次一覧へ戻る](#)